



共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） 令和4年度公募説明会

共創分野 POメッセージ

令和4年5月16日

プログラムオフィサー 久世 和資





久世 和資 (くせ かずし)

旭化成株式会社

取締役 兼 専務執行役員 デジタル共創本部長

経歴

1982年 筑波大学情報学類卒業

1987年 筑波大学大学院工学研究科修了(工学博士)

1987年 日本アイ・ビー・エム株式会社入社

2004年 同社東京基礎研究所長

2005年 同社執行役員

2008年 同社未来価値創造事業部長

2009年 同社開発製造担当

2012年 同社研究開発担当

2017年 同社執行役員最高技術責任者

2020年 日本IBM退任

旭化成株式会社 執行役員 エグゼクティブフェロー 就任

2021年 同社常務執行役員 デジタル共創本部長

2022年 同社取締役 兼 専務執行役員 デジタル共創本部長

専門分野

コンピュータ・サイエンス

審査の観点(共創分野/地域共創分野共通)

プログラムのコンセプト

「人が変わる」
SDGs×ウィズ/ポストコロナに
係るビジョンを共有

「大学が変わる」
持続的な産学官共創
システムの整備・運営

「社会が変わる」
科学技術イノベーションに
よる社会システムの変革

共創分野・本格型の趣旨

大学等を中心とし、国レベル・グローバルレベル
の社会課題を捉えた未来のありたい社会像の
実現を目指す、
**国際的な水準の自立的・持続的な
産学(官)共創拠点の形成**

地域共創分野・本格型の趣旨

地域大学等を中心とし、地方自治体、企業等との
パートナーシップによる、地域の社会課題解決や地
域経済の発展を目的とした
自立的・持続的な地域産学官共創拠点の形成

審査の観点*

1. 拠点ビジョン
ターゲット

2. 研究開発課題

①バックキャストによるイノベー
ションに資する研究開発

3. 運営体制

4. 持続可能性

②自立的・持続的な拠点形成が
可能な産学官連携マネジメント
システムの構築

※育成型については、観点1~3の構想について審査

POとして掲げる4つのポイント

- **Diversity** 多様性を積極的に活用できているか？
- **Inclusion** あらゆる局面で全員参加型の共創ができているか？
- **Agility** 状況の大きな変化や危機にダイナミックに対応できるか？
- **Leadership** 強力に10年間、変革をリードできるか？



結果として

- 世界をリードする拠点を確立
- 多くの強力な人材が育つ

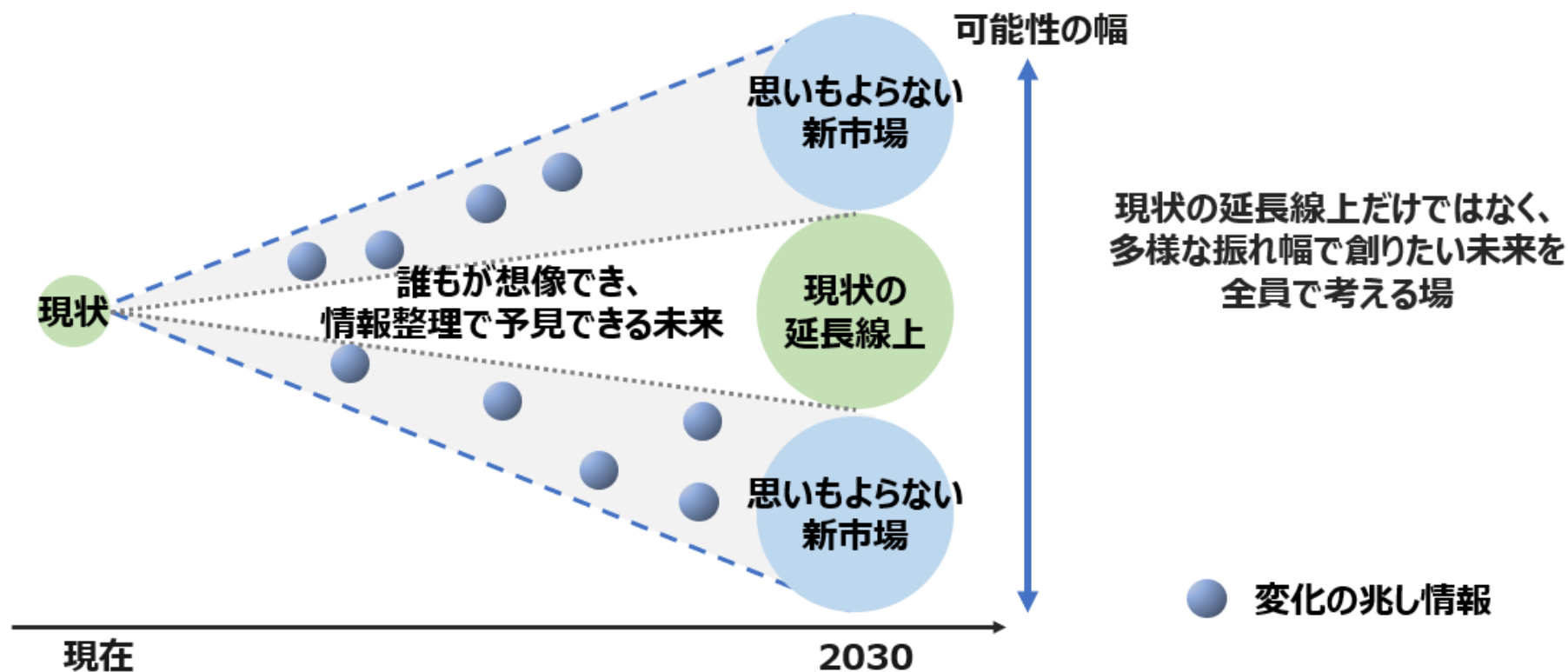
これらのことが期待できるか



DIAL of Compass
羅針盤の文字盤

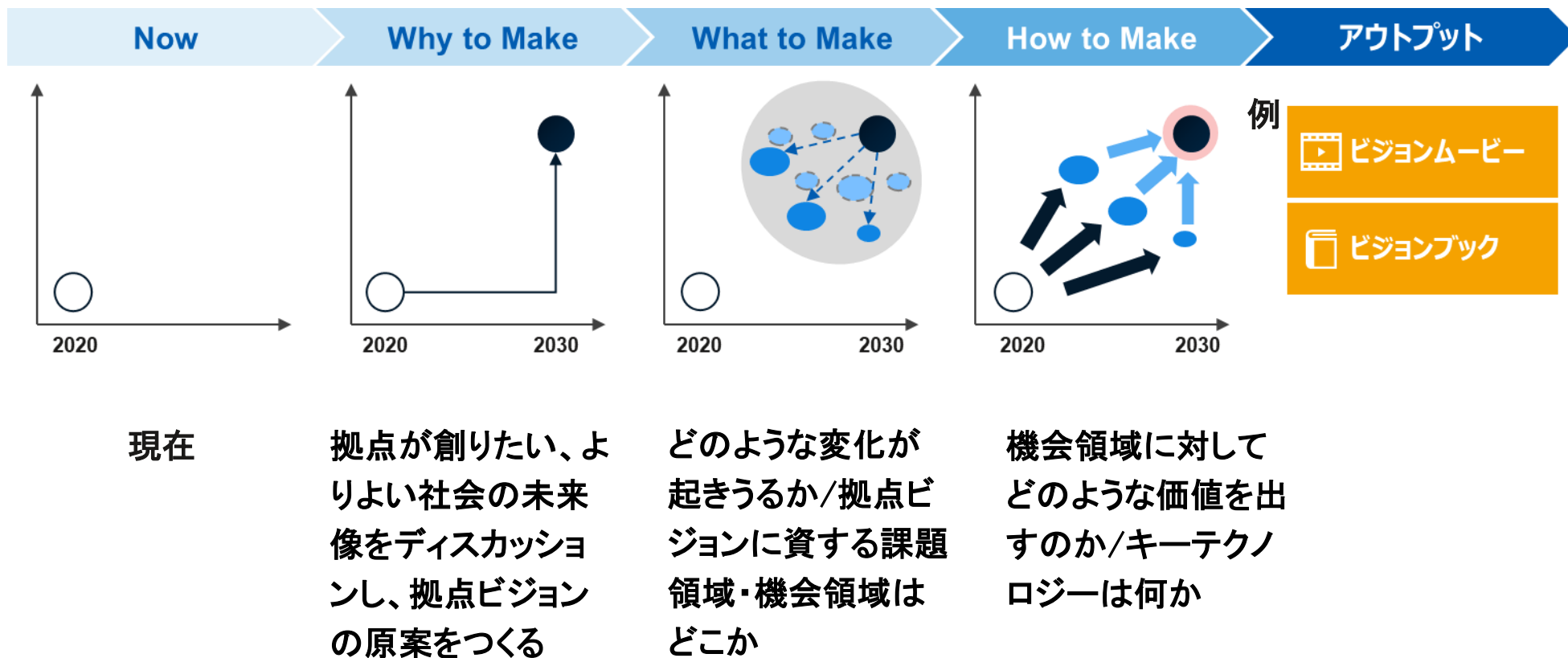
バックキャストिंगのねらい

社会や業界に大きなインパクトをもたらさうる変化を捉え、自ら実現したいユニークな未来を着想し、それを起点としてバックキャスト型で事業を構想する



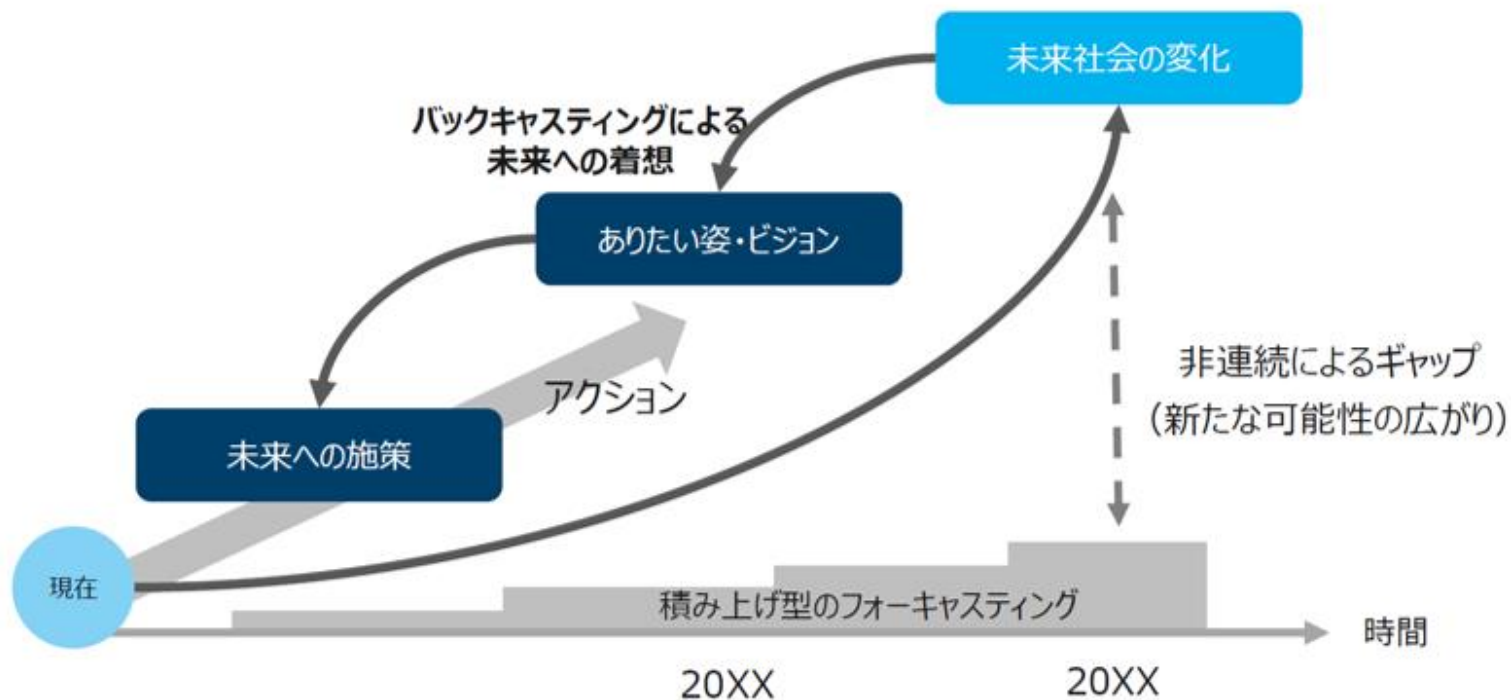
拠点ビジョンの策定

なぜ取り組むべきか(Why)をビジョンとして策定し、そのために何に取り組む必要があり(What)、
どうやって実現するのか(How)を明確にし、拠点ビジョンを共有・伝達できるような形にする



拠点ビジョンから具体的なプランへ

社会や業界、企業、大学に大きなインパクトをもたらさうる変化を捉えつつ、自ら実現したいありたい姿やビジョンを考える



拠点のありたい姿 (拠点・大学等としてどのような姿になっていきたいか)

世界をリードするグローバル拠点形成のストーリー、シナリオ、仕組み、アプローチなどを示して欲しい

世界をリードするグローバル拠点の形成に向けて

- **Diversity、Inclusion、Agility、Leadership（DIAL）を重視**
- **「自らの拠点・大学等が将来どのような姿になっていきたいのか」、「大学等をどう変えたいのか」の明確化**
- **多様な参加メンバーによる戦略（拠点ビジョン実現のシナリオ、ストーリー、仕組み、アプローチ）の具体化・明確化**